

<対策のポイント>

産地が抱える課題解決のため、新技術を組み入れた**新たな営農技術体系構築の戦略づくり**、**データ駆動型農業の実践体制づくり**、**ノウハウの整理等**の取組を支援します。

<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [2025年まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 産地の戦略づくり支援

- 労働力不足等の産地が抱える課題解決のため、担い手、ICTベンダー・農機メーカー、普及組織等の地域の関係者が参画し、**新技術を組み入れた産地としての新たな営農技術体系とその実践への道筋を明確化する取組を支援**します。

2. データ駆動型農業の実践・展開支援

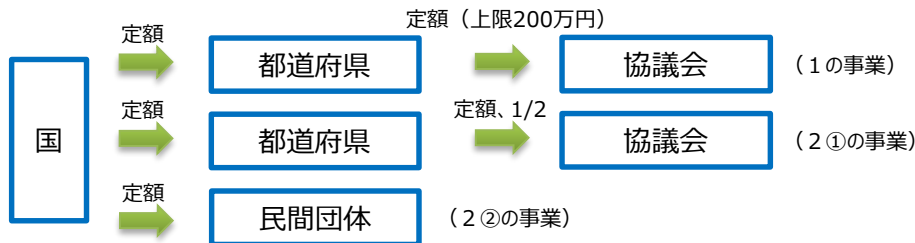
① データ駆動型農業の実践体制づくり支援

施設園芸産地を中心として、データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る「**データ駆動型農業**」の実践を促進するため、**産地としての取組体制の構築や農業者の技術習得等を支援**します。

② スマートグリーンハウス展開推進

既存ハウスからデータ駆動型の栽培体系への転換に係る**課題の調査、ノウハウ整理、更なる低コスト化の検討等を支援**します。

<事業の流れ>



開発実証 → 新技術実装に向けた産地の戦略・体制づくり



【お問い合わせ先】 (1の事業) 生産局技術普及課 (03-6744-2218)
(2の事業) 生産局園芸作物課 (03-3593-6496)